



塩田千春 「掌の鍵 2015年」
インスタレーション:古い鍵、ヴェネチアの木製の船、赤い毛糸
第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展、ヴェネチア、イタリア
写真:サニー・マン©JASPAR, Tokyo, 2021 and Chiharu Shiota

世界的な現代美術家である塩田千春氏の作品展を開催します。焼失した首里城の瓦礫を糸でつなぎ絡めた作品や、みなさんからメッセージを募り、糸で繋ぎ合わせるインスタレーション(空間芸術作品)など3つの作品を展示します。10月31日から11月14日まではなはーとで、11月1日から9日までは市役所本庁1階ロビーにてみなさんからの「希望」にまつわるメッセージを募集しています。

期 12月4日(土)～令和4年2月20日(日)

塩田千春インスタレーション 「いのちのかたち」

なはーとの開館を記念して、県内外のアーティストたちと市民との協働による作品展・芸能公演を開催いたします。
ここでしか見られない作品の数々をぜひ、ご覧ください。

なはーと開館記念 こけろ落としシリーズ

狂言「三番叟(さんばそう)・唐人相撲(なんばん)なはーと編」
唐人相撲は架空の国「唐」を舞台にした物語。
日本人の相撲取りが帰国の際、唐の皇帝が名残の相撲を見たいと所望します。対戦した唐人たちは次々と倒れ、ついには皇帝自身が勝負を挑みますが・・・。

今回は那覇大綱挽をテーマにした構成など琉球芸能のエッセンスが取り入れられ、なはーと独特の作品となっています。出演者には狂言師野村萬斎氏と琉球芸能実演家の嘉数道彦氏の他、オーディションで選ばれた市民10名に加え人間国宝の野村万作氏も出演します。

期 12月12日(日)



世田谷パブリックシアター「狂言その四」より「唐人相撲」(2008)／撮影:政川慎治

マームとジプシー新作演劇公演 「Light house」

国内外で活躍し、注目を集めている新進気鋭の劇作家・演出家である藤田貴大氏が、なはーとの共同制作プロジェクトにより、新たな作品を制作します。ワークショップや対談の中で得たヒントを基に作られる本作は、なはーとでのプレミア上演後、東京芸術劇場(令和4年2月3日)で上演予定。

期 令和4年2月4日(金)～6日(日)

「宮古・八重山・琉球の芸能」

宮古・八重山・琉球芸能のそれぞれの専門家や研究者に監修を依頼し、各地域の特徴を組み込んだ演出となっています。先人達より代々受け継がれてきた、沖縄各地の舞踊と唄を二度に鑑賞できる機会となっています。ぜひお越しください。

期 令和4年3月13日(日)



嘉数道彦さん

琉球舞踊や組踊、沖縄芝居など多くのジャンルに携わってきた実演家たちが出演します。那覇大綱挽や沖縄の武術の要素を取り入れたりと、琉球芸能のエッセンスが要所要所にちりばめられており、狂言を楽しみながら、沖縄の文化も肌で感じられる作品になっています。

儀礼曲である「三番叟」は格式高いイメージがありますが、ぜひリズムカルな躍動感ある舞を楽しんでほしいです。また、なはーと版「唐人相撲」は狂言と琉球芸能のコラボによる、これまでにない新しい独自の作品となっていますので、ぜひ会場でお楽しみください。



野村萬斎さん

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむ得ず公演を中止にさせていただく場合があります。

アクセスマップ



- ①若松入口 徒歩約6分
- ②久茂地公民館前 徒歩約2分
- ③沖銀本店前 徒歩約6分
- ④松尾一丁目 徒歩約6分
- ⑤松尾 徒歩約6分



- ⑥県庁前駅 徒歩約6分
- ⑦美栄橋駅 徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください

沖縄にある染木を知っていますか？

植物は昔から染物や工芸品の材料に使用されるなど、人々の生活の中に深く関わってきました。自然環境と文化を結び付けて考えられるようにとの想いを込めて、施設の周りには染料として使われてきた沖縄の木々を中心に植えています。「染木マップ」は、なはーと公式ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

那覇文化芸術劇場なはーと

那覇市久茂地3丁目26-27 ☎861-7810
【開館時間】9時～22時
【休館日】第1、第3月曜日(祝日、慰霊の日に当たる場合は直後の祝日でない日)、12/29～1/3



※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、国・県からの要請等に基づき開館時間の変更または臨時休館となることがあります。